



NPO法人

# フィリアの会

Vol. 8

2016年10月発行

発行元 NPO法人フィリアの会 (編集担当: 細川)

《お問い合わせ先》

住所 〒444-1221 安城市和泉町中根山6

Tel&Fax 0566-55-3438 (電話に出ない場合は留守電をお願いします)

E-MAIL philia-jimusyo@katch.ne.jp

URL <http://philia-no-kai.jimdo.com/>



Facebook twitter 友達、フォロワー募集中!!

旧:碧海5市・岡崎市に身体障がい者入所施設をつくる会

## 新フィリア通信

### フィリア (友愛・ギリシア語)

人は一人では生きられません。人はみな、お互いに助け合い、生かし合っています。障がい者はこのことを忘れないように存在するのかもしれませんが、障がい者が元気なら、その地域が元気な証拠です。人の輪があるのです。私たちはこの地域の福祉に消えることのない希望の炎を灯すため活動しています。

### 理事長あいさつ

## フィリアの会の使命

フィリアの会 理事長 本田桂吾



相模原障がい者施設襲撃事件は大きな衝撃でした。被害者とそのご家族の無念を思うとかけ言葉が見つかりません。この尊い犠牲を無駄にしないことが、フィリアの会の使命でもあると思います。

この事件の犯行動機は、「障がい者は不幸しかつからない」というものでした。起きたことが大事なので、衝撃的なニュースとして報道されています。しかし、この問題を冷静に分析するならば、この言葉は根が深く、理想やきれいごとでは否定できないものだと思います。

殺人に至ることはないにしろ、私たち自身が、知らぬ間に偏見や差別を助長するような空気をつくることに手を貸てはいないでしょうか?今回は紙面の都合で障がいを持たない方向けに書きますが、あなたは障がいを持つ人をおかわいそうだと思ったことはありませんか?それは自然に起こる感情だと思います。

弱いものを憐れむ慈しみの心は尊いものです。しかし、見方を変えると非常に残酷な考えにもなります。裏を返せば障がい者は不幸だからかわいそうという固定観念があるからです。

この固定観念に囚われると、すべて障がいを

持つ人は、無条件でかわいそうな人になってしまいます。確かに不利益をこうむることは多いかもしれませんが、それはその人の一面に過ぎません。障がいがあるから必ずしも不幸でかわいそうとは限りません。不幸と思えばだれでも不幸になるのです。幸か不幸かは周りが決めることではなく、その人が決めることです。

また、憐れむ者と、憐れみを受ける者という一方的な関係を固定化させ、上下関係のような見えない壁をつくってしまいます。これはお互いの関係を深める妨げになります。やがてこれは悪意なき無意識の偏見や差別につながる可能性があります。

人間は一度わかったつもりになると、それ以上は知ろうとしなくなるものです。こうして無知の闇に陥ってしまうのです。

人間には残念ながら無知の闇に陥りやすい弱さがあり、誰でも偏見や差別をする危険性があることを認めて、この前提に立ってこの問題に向き合いたいと思います。偏見や差別は外から入るものではなく、内から出てくるものです。

偏見や差別につながる固定観念を注意深く避けたいと思います。障がい者に同情してはい

けないということではありません。むしろそれを障がい者に近づききっかけにして、その関わりを続けて欲しいと思います。それが障がい者の良き理解者、友人となる道であり、偏見や差別が社会を席卷することを遠ざける方法だと思います。

障がい者の側も周りの空気に飲まれて、障がいがあるから不幸だと思込まないようにしたいと思います。そして、「私たちはここで生きていくぞ」と発信することが必要だと思います。こ

れは障がい者の問題に限ったことではありません。あらゆる問題の根底には同じようなことが潜んでいるように思います。

この問題は障がい者だけでは解決できません。色んな仲間と一緒に向き合わなければなりません。障がい者の存在価値、幸せを具体的に示し、偏見や差別の芽を摘むのは、私たちフィリアの会の使命でもあります。

## 活動報告

- 4月 9(土) 総会 秀武館寄付金受領  
23(土) きーぼー市  
30(土) 臨時理事会
- 5月 2(土) 事務会議  
14(土) 理事会
- 6月 9(木) ハートフルまつり打ち合わせ  
11(土) 理事会 わははハンディーズ制作会議  
25(土) わははハンディーズ制作会議  
30(木) ハートフルまつり打ち合わせ
- 7月 3(日) ハートフルまつり  
9(土) 理事会 カレーパーティー  
22(木) 安城ホームニュース取材
- 8月 5(金) ~7(日) 安城七夕まつり  
11(木) わははハンディーズ制作会議  
27(土) 安城ホームニュース記事掲載
- 9月 1(木) 中日新聞取材  
3(木) 理事会 中日新聞写真撮影  
6(火) 中日新聞記事掲載  
10(土) 第5回フィリアフェスティバル  
11(日) デンソー西尾わくわくホリデー  
17(土) 湯浅さん打ち合わせ  
19(月) わははハンディーズ制作会議  
29(木) 福祉まつり打ち合わせ
- 10月 1(土) 福祉まつり準備  
2(日) 福祉まつり  
8(土) 菫の臺見学 理事会  
22(土) きーぼー市

## 今後の予定

- 11月 12(土) 臨時総会&理事会  
薩摩芋パーティー
- 12月 10(土) 第4回クリスマス交流会
- 2017
- 1月 7(土) 新年会&理事会
- 2月 11(土) 理事会
- 3月 11(土) 理事会
- 4月 8(土) 新年度総会

# 総会



# きーぼー市



# ハートフルまつり



# 七夕



## フィリアフェス



## わくわくホリデー



## 福祉まつり



## 寄付金報告

太田眞弓様、内田けさよ様、北野谷きよみ様、清水紀子様、高田洋子様、鈴木亮様、川西道子様、徳武産業様、デンソー善明製作所様、秀武館様

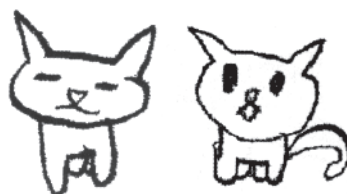
一般寄付（総会、きーぼー市、デンソーハートフルまつり、七夕まつり、フィリアフェス）

※順不同、匿名希望の方以外の方のお名前を掲載してあります。

寄付総額

**128,451円**

ご寄付いただき、  
ありがとうございました。



安城ホームニュース記事掲載  
(2016年8月27日)



# 安城ホームニュース

2016年(平成28年)  
8月27日(土)  
第730号  
第2・4土曜日発行  
36,800部

発行所 (株)中日総合サービス 三河支社 〒446-0057 安城市三河安城東町1-20-3  
電話0566(75)9741 FAX0566(75)8388 <http://chunichi.nagoya> [anjo-hnews@chunichisogo.co.jp](mailto:anjo-hnews@chunichisogo.co.jp)

## コンサートと紙芝居

フィリアの会 9月10日にフェスティバル



笑顔いっぱい。本田さん(左端)とフィリアの会の皆さん

NPO法人フィリアの会は9月10日、和泉町にある同会の事務所にて第5回フィリアフェスティバルを開きます。当日は、古くから本田さんと親交のあるちまん正入さんのピアノコンサート(13時)をメインに、本田さんが制作した絵本を下敷きに再構成した紙芝居を上演。本田さんは自作の詩を朗読します。資金集めのための方レーシセール(10時~15時)もあり、バザー品の提供を募っています。

す。本田さんは「紙芝居や、みんなで歌うコーナー」もあり、親子で楽しんでいただけるのでは。ご家族や友人知人誘い合っご来場を」と呼びかけています。  
☎同会 ☎55・3438



中日新聞(西三河版)記事掲載  
(2016年9月6日)

西三河 18

西三河版



Oh!ふじA  
平山 福水  
無所属

発行所 中日新聞社  
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号  
〒460-8511 電話 052(201)8811

2016年(平成28年)  
9月6日(火)

星新一生誕90年

## バザーで障害者支援



バザーの準備をする本田さん(左端)らフィリアの会の人たち=安城市和泉町で

10日、安城 NPO法人がフェスティバルでつくる安城市のNPO法人「フィリアの会」は10日午前10時~午後三時、同市和泉町の事務所で開催。フィリアフェスティバルを開く。会は重度身体障害者を受け入れ施設の建設を目標に、筋肉が徐々に衰える進行性筋ジストロフィー患者の本田桂吾さん(56)らが二〇一三年に設立。支援の輪を広げる活動の一つとして毎年フェスティバルを開いており、今年も「FESTIVAL」を開催

# あたりまえ

西尾市立福地中学校 2年 北野谷 篤



そんなのあたりまえ  
と何も考えずに  
つい言うてしまう

ぼくにとって  
あたりまえは  
ご飯を食べること  
学校に行くこと  
自転車に乗って  
あちこち自由に走ること  
サッカーをやること  
ゲームをやること  
お風呂に入ること

いつも普通に  
やっていることばかり

でもあるとき  
これができることが  
あたりまえなのか  
とふと思った

夏休みに参加した  
ボランティア活動  
ゴツムリ君に出会った

ゴツムリ君は  
小さい頃に  
筋ジストロフィーという  
病気にかかり  
手足はもちろん  
身体中の筋肉が衰えて  
動かせなくなっている  
二十歳までは  
生きられないかもしれないと  
言われていた

そう  
あたりまえのことが  
できないんだ  
やりたくても  
自分では  
何もできない

ぼくは  
張りつめていたいとを  
プチっと切られたような  
気持ちになった

あたりまえ  
これは  
身体が健康であってこそ  
できること

まずは  
家族に感謝することから  
はじめよう

あたりまえ

## ゴツムリくん(本田桂吾)より

彼とはあまり言葉は交わしませんでした。こんなことまで感じていたんだと驚きました。今回の気づきを少しでもこれからの生活に生かしてくれることを望みます。また、このポエムを読んで、自分も原点回帰しなくてはと思わされました。

自分を含め障害を持つ人たちを特別視するつもりはありませんが、障がい者という存在が周りの人に与える影響は思いもよらない価値があるものに思います。机の上で勉強しても得られない学びが、障がい者と関わることで得られるとしたら、障がい者を排除してしまったら、大きな損失になると思います。